

ISAR-5 特別企画

北方民族音楽の夕べ

January 17

19:00-20:30

ロシアのシベリアに位置する
トゥヴァとサハ、そして北海道
の阿寒に伝わる、喉歌・口琴・伝
承音楽を第 5 回国際北極研究シ
ンポジウムの会場で紹介します。

xöömei
khomus
mukkuri

一橋講堂 特別会議室

Hitotsubashi Hall Tokul

入場無料

free of charge, registration is required

事前申し込み制 (先着 40 名)

<https://www.jcar.org/isar-5>



Northern Peoples' Music Festival

Tuva traditional music ensemble Dyngyldai

(Choduraa Tumat and her students: Dalai Damdyn, Otkun Kuular and Aigor Koshkendei)

1995年、Choduraa Tumat氏はトゥヴァ大学の学生を集めてトゥヴァの伝統音楽アンサンブル「Dyngyldai」を発足。喉歌や伝承音楽の演奏活動と普及を続けてきた。Dyngyldaiはロシアだけではなく、国際的な音楽祭で演奏を披露している。2015年には第12回国際民族音楽祭、2016年の第5回ICTMシンポジウムでの演奏の他、モスクワ音楽院での「The Universe of Sound」にも参加してきた。現在Choduraa Tumat氏は、トゥヴァ大学に伝統音楽研究センターを設立し、指導者として人材育成に努めている。今回の来日では学生たちと喉歌や器楽を始めとするトゥヴァの伝承音楽を披露する。

- ・喉歌
- ・器楽演奏
- ・民族音楽

キム・ボリスフ (Kim BORISOV)

1995年、12歳でサハ共和国初代大統領専属ホームシスト（ホーム演奏家）となり、世界各地を訪問して演奏活動を行う。第7回国際口琴大会（2011年同共和国にて開催）では「世界の名演奏家」に選ばれる。現在、国際口琴協会理事、サハ共和国代表部極東地区副常任代表。サハ共和国は日本の北（東シベリア）に位置し、日本の約8倍、ロシア連邦の約2割近くの面積を有する。国土のほぼ全ては永久凍土で覆われ、金・ダイヤモンドなどの地下資源に恵まれる。ツンドラが広がる北部ではエヴェンやエベンキなどの北方少数民族がトナカイ遊牧や漁労を営み、南部ではウシ・ウマの牧畜が盛ん。レナ川中流に位置する首都ヤクーツクの気温は、冬は-50℃を下回り、夏は40℃近くとなる。サハ共和国のホームは金属口琴の一つで、同地で鍛造された鉄を原材料に鍛冶師が作りあげる。

- ・即興演奏

「スーヤタルディ」サハに伝わる口承英雄叙事詩にモチーフをとった曲。

「オフオカイ」オフオカイとはサハの正月とも呼ばれる「ウセフ」（夏至祭）や祝いの席で輪になって踊る「輪踊り」のこと。

口琴が「オフオカイ」と歌い出します。

阿寒口琴の会 (山本栄子・床みどり・郷右近富貴子)

1992年発足。アイヌ民族の伝統楽器「ムックリ」（竹製口琴）の演奏活動や公演・講話を通じて、アイヌ文化の普及活動を行っている。また、アイヌの古式舞踊や口承で伝えられてきたアイヌの歌の伝承の保存にも力を注いでいる。国際口琴大会（1999年オーストリア、2002年ノルウェー、2006年オランダ、2011年ロシア・サハ共和国）に参加し、ユネスコプログラム『III International Festival "Meeting of UNESCO Masterpieces on Olonkho Land"』（2016年サハ共和国）に招聘されるなど、国際的にも高い評価を得ている。郷右近氏は、姉・床絵美氏とともにユニット Kapiw&Apappo としても活動、ドキュメンタリー映画『kapiw と apappo～アイヌの姉妹の物語～』（2016年、佐藤隆之監督）が好評を博した。

- ・ムックリ演奏
- ・トンコリ演奏
- ・ウポボ（座り歌）

「カラカラ」神が降りて来るから神の座る座を作れ」と歌う。

「イカムッカサンケ」ウポボを歌い始めるからシントコ（行器）の蓋を下ろそう」と歌う。

「イタサンカタ」美しいシントコが歌や踊りにあわせてポンチャリンと鳴っている」と歌う。

- ・舞踊

「アトウイソーカタ」海の歌の踊り

「サロルンリムセ」鶴の舞

「ヘクリサラリ」お盆の投げ合う遊び踊り

「エッサホーホー」皆で輪になって踊る踊り



主催：北方民族音楽のタベ実行委員会
共催：北海道大学文学部北方研究教育センター
協力：The Tuvan State University、サハ共和国代表部
本事業は（公財）アイヌ文化振興・研究推進機構の「アイヌ文化活動アドバイザー派遣制度」の支援を得て行われています。

一橋講堂：東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
学術総合センター内
お問い合わせ先：isar5-office@nipr.ac.jp

都合によりプログラムが変更される場合があるのをご了承下さい。

